

庁 議 録

招集年月日	平成 25 年 10 月 1 日 (火)							
開会時刻	午前 10 時 00 分	閉会時刻	午前 11 時 15 分					
開催場所	庁議室							
出席の状況 (○出席者、代は代理出席)								
1	市長	○	2	副市長	○	3	教育長	○
4	総務部長	○	5	直轄理事	○	6	財務部長	○
7	市民生活部長	○	8	理事兼政策監	○	9	健康福祉部長	○
10	産業部長	○	11	建設部長	○	12	上下水道部長	○
13	教育部長	○	14	こども部長	○	15	伊達総合支所長	○
16	梁川総合支所長	○	17	保原総合支所長	○	18	霊山総合支所長	○
19	月舘総合支所長	○	20	議会事務局長	○	21	会計管理者	○
代理出席者								
職務のため出席した者		健康福祉部次長、産業部次長、建設部次長、総合政策課長、健幸都市推進室長、総務課長、人事課長、秘書広報課長、財政課長						
案件説明のため出席した者								
付 議 事 案 協 議 事 項		<p>1. 議題 伊達市総合防災訓練について 【市民生活部】</p> <p>2. 報告 (1) 伊達市チャレンジデー2013 結果について</p> <p>3. その他 (1) SWC 総合特区実務者ワーキンググループ in 伊達市について (2) ソーシャルビジネスと PFI 学習会について (3) 伊達マルシェの開催について (4) 特別職主要業務予定について (10 月上半期) (5) その他</p>						

庁 議 の 内 容（協議経過、結論等）

1. 議題

伊達市総合防災訓練について

【市民生活部】

市民生活部長が10月26日に実施する防災訓練の概要について説明し、詳細については環境防災課長が実施要項に基づいて説明した。

財務部長 阿武隈川の増水で伊達橋の落橋又は通行不能の場合の職員招集の想定はしているか？

環境防災課長 今回の訓練では想定していない。

副市長 防災計画では、震度6は全職員に非常招集がかかることになっている。この想定と整合性が取れていない。電話も使用不能となると思われるが想定しているか？

市長 何のための訓練か、目的が生きていない。
シュミレーションしたことをやってみて、不具合があってもよいと思う。それが訓練の成果となる。
特に重要なことは、情報の伝達である。招集訓練、自衛隊派遣、ヘリ要請、いずれも実際の災害時を想定すべきで、組織としての意思決定が大切である。訓練のための訓練であってはならない。
基本的にはこれでよいと思うが、情報伝達訓練についてはさらに検討されたい。

2. 報告

(1) 伊達市チャレンジデー2013 結果について

【市長直轄】

3. その他

(1) SWC 総合特区実務者ワーキンググループ in 伊達市について

【市長直轄】

(2) ソーシャルビジネスとPFI学習会について

【総務部】

(3) 伊達マルシェの開催について

【産業部】

(4) 特別職主要業務予定について（10月上半期）

(5) その他

市長発言要旨

①チャレンジデーについて

チャレンジデーの精神は伊達市としても取り組まなければならない課題である。

総合型スポーツクラブは文科省が奨めていて、誰もが運動をしましょうということ。本市のスポーツ振興公社の設立の目的は、1つに総合型スポーツクラブを運営すること、そして施設管理であると思っている。

チャレンジデーも1日だけではもったいない。月に1度ぐらい総合スポーツクラブが中心となって取り組めばよいと思う。

②伊達マルシェ（かけだ・まちなか市）について

乗用車の乗り入れを規制するようなことはできないものか。今進めていること（歩いて暮らせるまちづくり）に対して、トライアルをやることが大事。いい機会なので、できるだけ歩いてもらう工夫をしてほしい。

③風評被害について

今年の桃は平年並みに戻ったようであり、ようやく風評被害が収まってきたところに、東電の汚染水漏れがあって、第2の風評被害ともいえる状況にある。「福島産」では難しい状況にあるようなので「伊達産」という取り組みをしなければならぬ。

寛仁親王妃信子様が発行されることが宮内庁から発表された。「伊達産」の食材を使ったレシピ本ということである。

④自己研鑽について

10/2にSWC総合特区実務者研修会が開催される。高齢化社会に向けたSWCの取り組みを理解するためにも多くの職員が参加してほしい。

東邦銀行との包括連携協定に基づくソーシャルビジネスとPFI学習会についても同様で、職員は勉強になるチャンスをいかしてほしいと思う。